

【単元のポイント】

平均

5年生 算数 第11単元

学習指導要領（平成 29 年告示）の目標

【D データの活用】D(1) データの活用

平均の意味について理解すること。測定値の平均を用いること。

◆ 評価の 3 観点における目標

【知識・技能】

- 平均の意味を理解している
- $\text{平均} = \text{合計} \div \text{個数}$ で平均を求められる
- $\text{合計} = \text{平均} \times \text{個数}$ で合計を求められる

【思考・判断・表現】

- 平均を使って比較や予測ができる
- 平均を使うことの意味を説明できる

【主体的に学習に取り組む態度】

- 日常場面で平均を活用しようとしている
- データを整理して考えようとしている

◆ 指導上の留意点

1. 平均の求め方

- 平均 = 合計 ÷ 個数
- 例：5, 7, 6, 8, 4 の平均 → $(5+7+6+8+4) \div 5 = 30 \div 5 = 6$

2. 平均から合計を求める

- 合計 = 平均 × 個数
- 例：平均 80 点で 5 回なら → $80 \times 5 = 400$ 点

3. 平均の活用

- ばらつきのあるデータの代表値として使う
- 測定値の誤差を小さくするために使う

4. つまづきやすいポイント

- 個数（データの数）を間違える
- 0 を含むデータで 0 を数え忘れる
- 平均が必ずしも整数にならないことへの戸惑い